

仕様

	KHK05-3901: 6L
使用サイズ(約)	径23.5×高さ32 (cm)
収納サイズ(約)	径23.5×高さ26.5 (cm)
製品重量	約1.78kg
実使用容量	約6L
保冷効力	約14°C (8時間)
保温効力	約32°C (24時間)、約62°C (6時間)
コップ容量(約)	(大) 170ml (小) 130ml
材料の種類	内面: ステンレス鋼 (クロム18%、ニッケル8%) 外面: ステンレス鋼 (クロム12%、ニッケル0.1%) ふた/内ふた/コップ: ポリプロピレン 本体樹脂部: ポリプロピレン

■使用サイズは、スタンドを立てて、ハンドルを倒した状態の外寸です。

■保冷効力は、JIS規格「携帯用クーラーボックス」の保冷試験方法を準用した試験結果の数値です。

①内容器のほぼ中心に温度計の感温部が位置するように固定し、内容器に実容量の80%の冷水を入れて水の温度を1~4°Cに調節する。

②内ぶた・コップをセットしてふたを閉め、水の温度(T1)を測定後、直ちにあらかじめ40±2°Cに調整された恒温槽に入れる。

③8時間後に水の温度(T2)を測定し、(T2)と(T1)との温度差を求めて保冷効力をとする。

■保温効力は、JIS規格「ステンレスまほうびん」の保温効力試験を準用した結果の数値です。

室温20°C+/-2°Cにおいて、内容器に実容量の沸騰水を入れる。湯の温度が95°C+/-1°Cになった時、直ちに内ぶた、コップをセットしてふたを閉める。24時間および6時間後に湯の温度を測定し、その湯の温度を保温効力をとする。

「故障かな?」と思ったら

次の項目について点検を行ってください。いずれの場合にも当てはまらない場合は、お買い上げの販売店又は、当社へご相談ください。

症状	点検するところ	処置
飲料物が ●コックの注ぎ口 から漏れる。 ●コックの取付部 から漏れる。	コックの中に何か挟まって(詰まっている)いませんか?	水を入れて、異物を流してください。
●コック部とパッキン類は消耗品です。1年を目安にご確認ください。消耗がある場合は、品番、品名をご確認の上、お買い上げの販売店までお問い合わせください。	コックの本体が緩んでいませんか?	コックナットをきっちりしめ直してください。

この度は、当社の製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。

■製品に関してお気づきの点・ご不明の点がございましたら、お買い上げの販売店までお問い合わせください。

※仕様その他は改良のため、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

販売元

コーナン商事株式会社

大阪府大阪市淀川区西宮原2丁目2番17号

MADE IN CHINA 20js-sep

LIFELEX

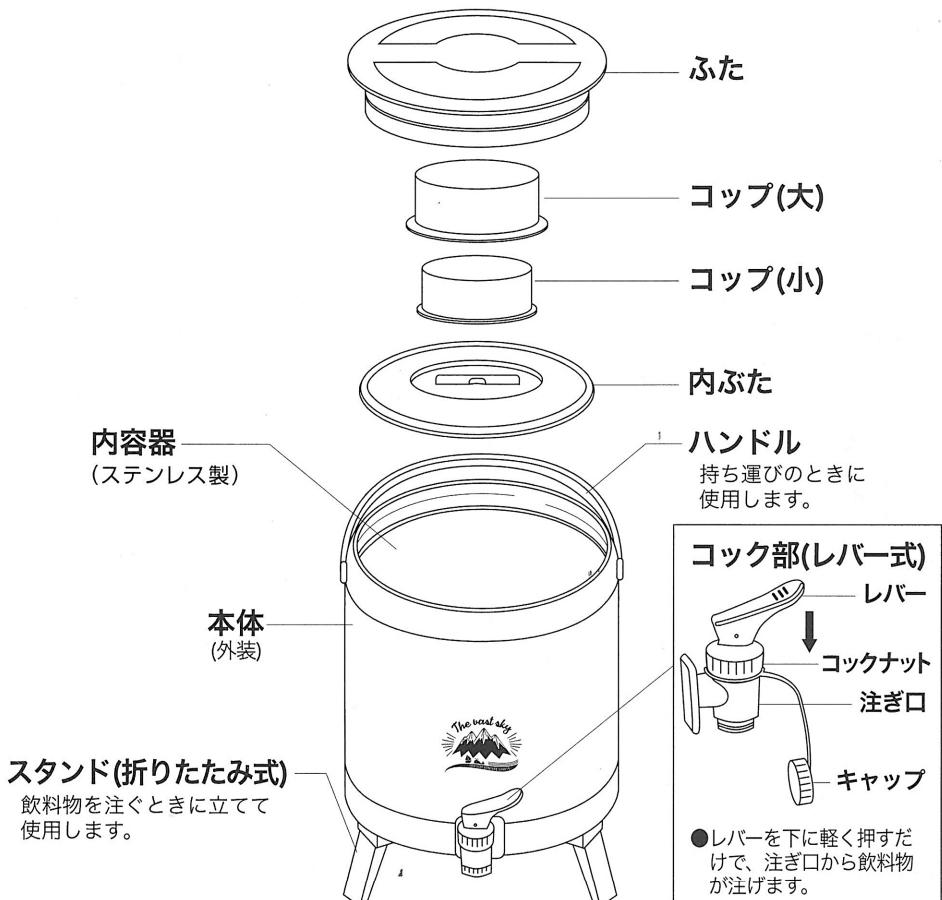
ステンレスウォータージャグ

取扱説明書 KHK05-3901

このたびは本製品をお買上げいただきましてありがとうございます。
ご使用の際には、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。
取扱説明書は、いつでも再読できるように大切に保管してください。

保温・保冷兼用

<各部の名称>



*イラストはイメージです。

ご使用方法

※ご使用前に、内容器・ふた・内ふた・コップ(大) (小)をよく洗浄してください。

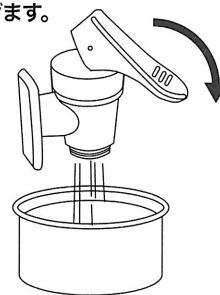
飲料物の入れ方

- ①ふたを左に回して外し、コップ(大) (小)・内ふたを取り外してください。
- ②内容器に飲料物を注ぐように入れてください。
※飲料物の量は必ず内ふたの下端より少なめにしてください。
- ③内ふた・コップ(大) (小)をセットしてふたを右に回してしっかりと閉めてください。



飲料物の注ぎ方

レバーを下に軽く押すだけで飲料物が注げます。



レバーを離すと元に戻り止まります。



レバーを上げると手を離した状態で飲料物が注げます。



本体持ち運びのときは、レバー接触などで飲料物が漏れる可能性があります。付属のキャップを閉めて持ち運んでください。

お手入れ方法

※におい移りを防いでいつまでも清潔に使用していただきため、十分にお手入れしてください。

内容器・ふた・内ふた・コップ(大) (小)

- ①食器用洗剤をスポンジなどに付けてよく洗浄します。
- ②水気を十分に拭き取って自然乾燥させてください。
※内容器は、洗浄して水気を十分に拭き取った後、ふた・内ふたをしないで自然乾燥させてください。

保管について

- ①お手入れが終わったら、本体に内ふた・コップ(大) (小)をセットして、ふたをしっかりと閉めます。
- ②直射日光や高温多湿を避けて、屋内の乾燥した場所に収納・保管してください。

⚠ ご注意とお願ひ

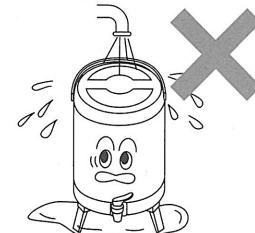
- 氷を入れる場合には、最初に飲料物を入れ、次に小さく碎いた氷を静かに入れてください。氷を先に入れると、内容器が変形や破損して、錆・腐食・故障などの原因になります。
- 飲料物を注いだ後、コックの注ぎ口から「しづく」が落ちることがあります。しづくが落ち切るのを待ってからコップなどの容器をお取りください。
- 使用状況により、本体(外装)に結露(空気中の水蒸気が凝縮して水滴となって付着する現象)が生じことがあります。結露が生じた場合は、乾いた布で水気をよく拭き取ってください。
- お手入れの際は、塩素系漂白剤・シンナー・ベンジン・たわし・みがき粉・クレンザーなどを使用しないでください。損傷・錆・腐食・故障などの原因になります。

⚠ 使用上の注意

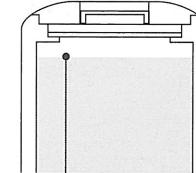
※必ずお守りください。

飲料物の保温・保冷以外には使用しないでください。

- 本体(外装)の丸洗いはしないでください。内部に水が侵入して、錆・腐食・故障・他のものを汚すなどの原因になります。



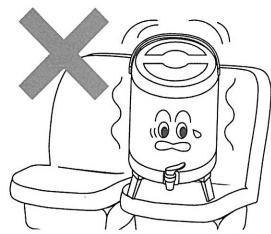
- 飲料物は、必ず内ふたの下端より少なめにしてください。入れすぎると、あふれ出る恐れがあります。



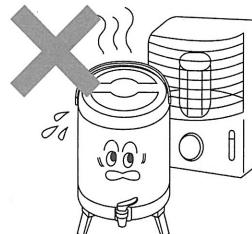
- 転倒・落す・ぶつけるなどの衝撃を与えないでください。変形や破損して、故障や漏れなどの原因になります。



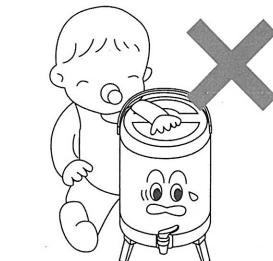
- 密閉容器ではありません。飲料物を入れて自動車などで運搬しないでください。他のものを汚す原因になります。



- ストーブやコンロなど、火の側や高温になるところに置かないでください。変形や変色・故障の原因になります。



- 乳幼児の手の届くところに置かないでください。また、いたずらには十分注意してください。



- お湯などの熱い飲料物を入れての使用は絶対にしないでください。変形や故障して、飲料物が漏れたり、他のものを汚したりする原因になります。

- 次のようなものは絶対に入れないでください。

- ※ドライアイス・炭酸飲料。

(内圧が上がってふたが開かなくなったり、飲料物が吹き出る恐れがあります。)

- ※牛乳・乳飲料など。(腐敗や変質の恐れがあります。)

- ※みそ汁・スープなどの塩分を含んだもの。(内容器の変色・錆・腐食の原因になります。)

- ※果肉・お茶の葉など。(つまる・漏れるなどの原因になります。)

- 平坦で安全な場所を選んで安定性よく設置して使用してください。

- 内ふた・コップ(大) (小)をセットして、ふたを確実に閉めて使用してください。

- 持ち運ぶ際は、必ずハンドルの中央を持って本体を水平にしてください。

- 傾ける・横置きにする・振動を与えるなどしないでください。飲料物が漏れたり、他のものを汚したりする原因になります。

- 重いものを載せたり、座ったりしないでください。変形や、破損・転倒の原因になります。

- 缶類やビン類などを直接入れないでください。本体内側の変形や損傷・故障の原因になります。

- 本体の転倒や破損による水漏れでパソコンやテレビなどの電気製品の故障になる場合がありますので、電気製品の近くで使用しないでください。

- 使用後は、必ず残った飲料物を捨て、早めにお手入れしてください。

- 飲料物を長期保存しないでください。飲料物が腐敗や変質したり、内容器に変色・錆・腐食が発生する原因になります。

- 食器乾燥機や食器洗い乾燥機に入れたりしないでください。変形や破損したり、内部に水が侵入して、錆・腐食・故障・他のものを汚すなどの原因になります。